



澤渡組頭更迭 石城 郡澤渡村消防組頭平山藤吉氏は、過般辭任したので佐藤清司氏が就任した。

秋刀魚群!!

來月中旬來る 小名濱町水産試験場磐城丸は秋刀魚漁場調査のため本月二日出帆千島群島近海迄の記録的航海を行ひ十六日帰港した。その結果に依ると秋刀魚は色丹島東南十哩内外の海區に群をなし、三回に亘つて三萬七千尾を漁獲したが魚群はそれより南下し始め本縣沖合に現はれるのは來月中旬であらう。

平學校荒し

平町新川町無職鈴木八郎(二〇)假名は本年七月頃から平町に於て(窃盗は本年七月頃から)平町に於て窃盗を働いてゐたこと發覺し廿一日平署に檢舉されたが、同人は平町二丁目巻重吉方から洋服一着を盗んだ外平町第一小學校を荒したことを自白した。

相馬支局通信

恵れた体育大會

秋天高く澄み渡りて風もなく健兒の膽をおどらせ廿一日原町夜之森グラウンドに於て既報の如く相馬郡聯合青年團第七回体育大會は、午前八時三十分入場式、團歌合唱、令旨奉讀、開會の辭審判長注意、選手宣誓と式の如く始まり九時半より愈々各種競技の幕を切られた、三百余名の選手の間を走るとグラウンドは全く人を以て埋めた。

盆踊りの殿り

原町 小川青年分團主催にて廿一日夜

米作増收競技會

縣立相馬農藝學校校長佐藤弘毅氏の主唱にて來年より三ヶ年繼續にて米作増收競技會を催す事となり、これが獎勵金交付方を舊藩主相馬子爵に交渉中の處今回金貳百圓を下附する旨通知があつた。

相高女運動會

中村町縣立相馬高等女學校秋季運動會は十月十日同校にて舉行、郡内各小學校兒童の優勝旗爭奪リがある筈。

金庫盗まる

相馬郡鹿島驛前料理店富七屋佐藤清方にて何者にか現金二圓余其他重要書類在中の手提金庫を盗まれたので中村署にて目下犯人嚴探中であるが、廿日その金庫は破壊され鹿島小學校庭忠魂碑側にあるのを發見したが犯人は未だ逮捕されぬ。

農民各位に

梅原千代 農民は昨年の不作に起因する食料の缺乏、生産品の暴落、國・縣・村税の負擔不能等々に慮され今や餓死線上にある時〇〇町村長はこれが救済として教員の俸給、役場吏員の給料減額を町村長會において議決したと聞く、それはいかにか農民を煽動して農民の雷同を自己の議決の渦の中に入れて

んどす、何たる卑俗ぞ。無産労働者農民諸君、この事には雷同してはならない。教育者、村吏の給料を減らすことは資本家地主のみの利益のみならず、東部の警察界が巡査の宿泊料を増額したる同職相食むの汚い葛藤と一歩の差もない事になる。町長は八九分までは資本家地主である、自己の報酬を撤廃して後薄給の俸給減額を議決するならばプロである處の勞農黨も自己の報酬を上げて同致すも、自己の報酬を削ぐ上にあつて減額するとは噴飯に堪へない、自己の財産で生活してゐるものでなく、俸給を主体として生活してゐるものは純然たる無産者である。教育者然り、村吏然りである。所謂知識プロであるが故にこの給料を減額して村費の軽減を希望することは大なる間違ひである。勞農諸君のねらふのは町長、助役の報酬撤廃、村税は資本家地主が負擔するは町長の議決である。諸税町村費の軽減は可能である。諸君の奮闘してはなれば

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 マルソー・アランク・白 1.10 マルソー・ルージュ 赤 良品にして安價賣行飛ぶが如し 西村屋藥局

電話開通 電話六七八〇番 理髮器具販賣 芳香園香油店

蒲鉾製造販賣開始 夏期氷水營業中は特別の御引立を蒙り有難く御禮申上ります。 扱て愈々蒲鉾の期節が到来しましたので本日より製造販賣を開始致しましたから從來同様御鼻負に預り度く願上げます。 蒲 平町一丁目 藤 寅 電話一四一四番

団体には銀バスを!! 是非料金底廉の マツザキタクシー 電話は... 四四九

吸入用酸素酸素吸入器 正確体温器寒暖計 特約店 開内藥局 電話四〇番

皆様の 昭和タクシー 此際御得意様本位に 貸切料金の値下斷行 何卒御用命を 平驛前 電話三四三番

蒲 鉾 賣出開始 例年の通り御下命御鼻負に預り度く願上げます。 平町字二丁目 藤市蒲鉾店 電話三〇五番

生花教授 家元龍生派池坊 生花、盛花、投入、自然 營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます 平町仲町三 電話六二五番

華道教授 天水庵 岡田華悦